

随時、募集中! 会員になって一緒に活動しましょう!



会員様とのパートナーシップを大切にしながら持続可能な社会を実現します。

kkjの理念や事業活動、環境共生住宅・まちづくりの要件などを総合的に判断し、貢献度が高く、これからも積極的に取り組むゴールほど大きく、中心に近い位置にあります。

会員区分

- 【正会員】環境と共生し脱炭素社会に適合する住まい・まちづくりの普及啓発事業、政策提言、技術開発並びに先導的プロジェクトの推進事業に参加する事業者
- 【情報会員】当法人の行う事業に関する有益な情報を活用し、関連する部会に参加できる事業者
- 【地域会員】主に地域に密着して環境と共生する住まい・まちづくりを普及する事業者

会員のメリット(主なもの)

- 業種を特定しない協会であることから、異業種交流することができ、会員様の情報発信等を通じて、ビジネスの機会を創出することができます。
- 環境と共生する建築物・まちづくりの最新事例を視察する見学会や各分野の専門家による交流セミナー、環境共生の新たな魅力を考える勉強会等、様々なイベントに参加できます。
- kkjウェブサイトにて会員様の「環境への取り組み」「ショールーム情報」を公開することや会員様の新商品、イベント等をトップページの「ホットニュース」で告知することができます。
- 会員様の建材・設備を「環境共生住宅推奨部品データベース」に登録することで対外的に環境配慮が訴求できます。また「推奨部品紹介シート」を活用して顧客にも訴求できます。
- 関連省庁や自治体、業界団体、会員様が発信したホットなお役立ち情報を、迅速にメルマガ「kkj便り」で得ることができます。



●見学会の様子



●交流セミナーの様子



一般社団法人 環境共生まちづくり協会

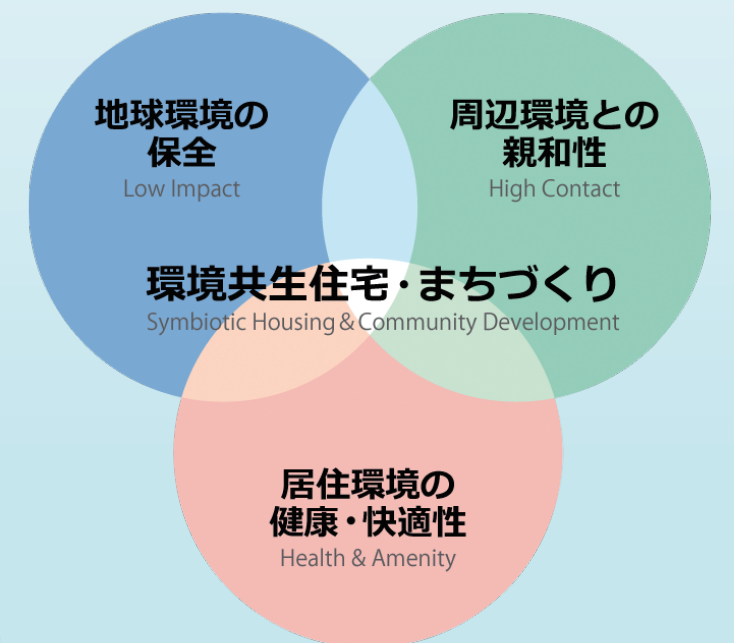
〒162-0824 東京都新宿区揚場町 2-21 東ビル 6F
TEL : 03-6265-3242 FAX : 03-6265-3243

<https://www.kkj.or.jp/>



一般社団法人 環境共生まちづくり協会

kkj



協会の概要

ごあいさつ

我が国では、「カーボンニュートラル」や「SDGs」「ウェルビーイング」「レジリエンス」などの環境問題は多様化・深刻化しています。環境共生の視点からこれらの課題やニーズへ対応するには、住宅単体のみならず、広くまちレベルでも捉え、新築・改修・再生など総合的な対応をしていくことが不可欠です。

そこで、これまで活動の軸としてきた提言「住まい・まち・暮らしの環境共生」を再認識するとともに、令和6年6月に団体名称を変更し、建築物を構成する躯体、建材や設備などのハード面、そこで暮らす人々の住まい方などソフト面をより広いレベルで捉え、普及推進・広報活動の強化、情報収集・調査研究、結果の発信、関連ネットワークの拡大・活性化などの活動をより一層活発に図ってまいります。

皆様のご理解・ご協力を得ながら、「住まい・まち・暮らしの環境共生」の普及・拡大を、今後より一層活動の推進を図り、持続可能な社会の実現と人々の生活の安定と健全な発展に寄与していく所存です。

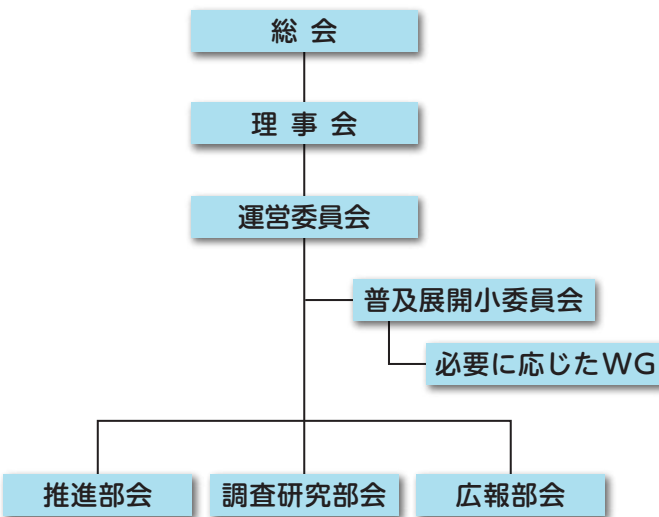
沿革

1990年	環境共生住宅研究会	建設省住宅局(当時)により産学官連携で創設
1994年	環境共生住宅推進会議	民間団体として研究会の成果を継承
1997年	環境共生住宅推進協議会	環境共生住宅の普及推進に注力
2009年	一般社団法人化	多方面の活動に対応
2012年	「住まい・まち・暮らしの環境共生」の提言を発表	
2020年	30周年を契機にSDGsをスローガンに取込み	
2024年	環境共生まちづくり協会	「住まい・まち・暮らしの環境共生」の普及・拡大

目的

環境共生まちづくり協会は、脱炭素型、循環型の都市・地域づくりを目指して、環境と共生する住まい・まちづくりを推進することにより、住まい・まちにおける省エネルギー、省CO₂、省資源、レジリエンスの向上、地球環境の維持及び保全を図り、もって、持続可能な社会の実現及び人々の生活の安定と健全な発展に寄与することを目的とします。

活動体制と活動内容



- (1) 環境と共生する住まいとまちづくり、住まい方の普及推進活動を拡大します。
- (2) 環境と共生する社会に向けて、関連省庁・地方自治体・団体・企業との連携を行います。
- (3) 持続可能な社会の実現に向けた取り組みに関する情報収集・調査を実施し、調査結果を情報発信します。
- (4) 「環境共生まちづくり」について、住産業、まちづくりに関わる事業者や一般消費者等に広く理解・認知いただける情報発信活動を強化します。
- (5) 協会活動の活性化を目指し、協会活動の方向性を訴求し会員拡大に取り組みます。

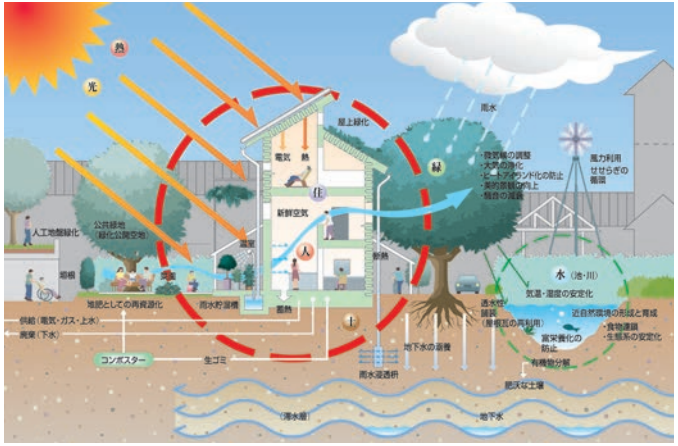


会長 竹中宣雄

kkjが考える「環境共生まちづくり」

地球環境を保全する観点から、温暖化防止、資源・エネルギーの有効活用、生物多様性の保全などの面で十分な配慮がなされ、また周辺の自然環境と親密に美しく調和し、住まい手が主体的にかかわりながら、健康で快適に生活できるよう工夫された、環境と共生するライフスタイルを実践できる住宅、およびその地域環境です。

【環境共生まちづくりの仕組み】



【団地の事例】



【公共施設の事例】



【街区の複合施設の事例】



注:上記の「団地」「公共施設」「街区の複合施設」は会員様が設計や施工を行った環境共生要素技術を備えた事例

kkjの出版物

